

かわさきく 川崎区

川崎区では、歴史を大切にしまちづくりを進めています。また、市内で唯一海のあるまちでもあります。

歴史を活かした まちづくり!

五街道の一つ東海道・川崎宿

江戸時代、東海道には五十三の宿場がありました。そのひとつが1623年につくられた川崎宿です。お江戸日本橋をスタートして、品川宿の次、多摩川を船で渡れば川崎宿。川崎宿が誕生して400年を迎える2023年にむけて、その文化と歴史をまちづくりに活かそうという市民団体が、「東海道川崎宿2023」です。

旧東海道沿いにあるお寺や神社に伝わる伝承や資源を活用したイベントを開催しています。



一寺 閻魔寺 寄席



坂本九さんの後輩です。

川崎区出身で旧東海道の近くで生まれた歌手坂本九さんが亡くなられた命日(8月12日)に、後輩の児童が坂本九さんの名曲を一生懸命歌ってくれました。

多くの人たちが訪れるまちへ!

~NPO法人かわさき歴史ガイド協会~

多くの人たちに来てもらって、まちを元気にしようがんばっているのは「かわさき歴史ガイド協会」です。川崎宿・川崎大師周辺・田島を中心にいるな史跡を案内してくれます。

地域の歴史をより理解するため身近な地域に残されている昔の街道や史跡、景観などを調査、見学することを目的とした総合学習に、ガイドを依頼する小学校が増えています。

メンバーは黄色の服を着てガイドしています。



メンバーはとても歴史に詳しい人なんだ!



地下街でもいろいろな案内をしているよ!

JR川崎駅東口の地下街アゼリアに、2006年(平成18年)6月1日オープンした観光案内所で案内しているのもガイド協会のメンバーです。午前10時から午後5時まで、市内の名所や物産などを案内しています。

ここでは赤い帽子と青い上着です。

まちづくり事例だよ!

地域全体で盛り上げよう！

～川崎大師周辺～

川崎大師周辺の地域では、数多くの歴史的に有名な史跡や名所が数多くあります。そこで夏に開催されるのが、「サマーフェスタ」、「サンバカーニバル」、「風鈴市」。サマーフェスタは、毎年、海の日に開催され、歴史に関するクイズを解きながら、大師周辺地域の名所を巡ります。



長十郎梨いかがですか！

川崎区で生まれた「長十郎梨」。明治から大正時代が最盛期で、その後は新品種の登場などにより見かける機会が少なくなりました。

その長十郎梨を生まれ故郷の川崎区に復活させようと苗木を川崎大師駅前の若宮八幡宮境内に植樹した「多摩川クラブ」は、長十郎梨をPRするイベントを川崎駅周辺商店街や川崎大師駅前などで開催しています。

2009年(平成21年)9月14日の収穫祭には、長十郎梨のおいしさを味わってもらおうと、川崎大師駅前で約800個の長十郎梨が無料配布されました。

トピックス1

海風の森へようこそ！

～海を感じることでできる森づくりを市民の力で～



海風を受ける風車をシンボルとし、トンボやゲンゴロウなど、水生の動物やそれが活動する環境とふれあうことのできるビオトープをもつ森をめざして、現在も「海風の森をMAZUつくる会」が活動を継続しています。

2000年(平成12年)市が各区に市民健康の森を整備することを決定、各区で構想検討委員会が立ち上げられました。川崎区では、市内で唯一海がある区という特色を活かした森づくりをしよう、という結論がだされました。これにもとづき、潮風に強い植生をもち、



まちづくり事例だよ！